

「はじめてのマスク」の使用対象月齢について

昨今、SNS などにおいて、お客様より「はじめてのマスク」における、特に低月齢のお子様へのご使用是非について、お問い合わせやご心配、ご意見を受けまして、改めて本製品の目的及び注意点について、お知らせさせていただきます。

本製品は、かぜ・花粉対策を目的に開発され、2011年8月の発売から現在まで、長くご愛顧いただいております。本製品は、「立体ドーム構造で口元に空間を確保すること（窒息を防ぐ）」「呼吸が楽にできるように通気ルート（呼吸しづらさの軽減）」等の設計上の配慮を十分に行っており、これまでに本製品のご使用による息苦しさや熱中症などの報告はありません。

こうした中、昨年新型コロナウイルス感染症の蔓延を受け、2020年5月25日に公益社団法人日本小児科医学会による「2歳未満の乳児に対するマスク着用の心配なこと*1」の注意喚起が出されました。この注意喚起を参考に、本製品は使用対象月齢を「1歳半～3歳」から「2歳～3歳未満」へと引き上げ（2020年9月製造分より）、HP等においても、マスク着用時の注意として「『新しい生活様式』における熱中症予防のポイントについて」を掲載させていただきました。

一方で、現在の新型コロナウイルス感染症では、子どもは成人と比べて感染しにくい可能性が示唆されています。また、子どもへのマスク着用により、呼吸や心臓への負担、熱中症、長時間のご使用による口周りのかぶれなども注意喚起がされています。*1 WHO（世界保健機関）では、子供によるマスク使用について装着安全性の観点から5歳以下のお子様には必要はないとの見解と同時に、5歳以下のお子様へのマスク着用は地域による要求や病人の近くにいるなどの特定の必要性において、保護者などの観察の下での使用を求めています。*2 また、CDC（米国疾病予防管理センター）ではマスクを装着できない特別な場合を除く、2歳以上のお子様の公共の場でのマスク着用を求めています。*3



上記のような各機関の様々な情報を基に、本製品を今後も安心してお使いいただくために、以下の通り、本製品の装着時の注意点を、お客様にご案内し、周知に取り組んでまいります。

【「はじめてのマスク」装着時の注意点】

- ・マスク着用時はお子様から目を離さないようご注意ください。
- ・外出時の「3密（密集、密接、密閉）」の環境下では当製品のご使用を推奨します。一方、屋外で人と十分な距離（少なくとも2m以上）が確保できる場合には、マスクをはずし、お子様とリフレッシュすることも大切です。
- ・マスクを着用時は、激しい運動は避け、熱中症のリスクを考慮し、こまめに水分補給をしてあげましょう。
- ・お子様が装着を嫌がる、気分が悪いなど体調不良を言葉で訴えにくい場合は、マスク装着はお控えください。

以上

* 1. 日本小児科医会「2歳未満の乳児に対するマスク着用の心配なこと」

https://www.jpaweb.org/dcms_media/other/2saimiman_qanda20200609.pdf

* 2. WHO（世界保健機関）の見解

<https://www.who.int/news-room/q-a-detail/q-a-children-and-masks-related-to-covid-19>

* 3. CDC(米国疾病予防管理センター)の見解

<https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/prevent-getting-sick/cloth-face-cover-guidance.html#feasibility-adaptations>